

徳島県立吉野川高等学校



1 学校の概要

- ① 生徒数 428名 (1年145名・2年154名・3年128名)
- ② 知, 徳, 体の調和のとれた教育を推進し, 誠実で探求心, 創造力に富んだ, 心身ともにたくましい人間を育成する。
- ③ 環境目標・テーマ
「吉野川高校からの発信, 見つめよう・守ろう私たちの自然環境」
～環境と人に優しい心の育成～



2 行動方針

- ① 節電・節水に努めよう。
- ② ゴミの分別に努めよう。
- ③ リサイクルに努めよう。
- ④ 学校及び地域の環境美化に努めよう
- ⑤ 希少植物「アサザ」の保護と増殖活動に取り組もう

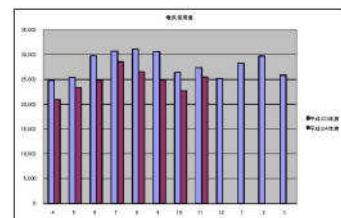
3 行動

- ① 節電・節水に努めよう

節電・節水を呼びかけるステッカー・ポスターを教室やトイレに掲示した。
毎月の電気の使用量を表とグラフにして教室に掲示した。



〈節電・節水シール・ポスター〉



〈教室に掲示したグラフの一例〉

- ② ゴミの分別に努めよう



ゴミの分別

3種類 (ペット・空き缶・燃えるゴミ) に分けて回収した。

③ リサイクルに努めよう



紙類の回収

コンテナに不要な紙類を入れ，まとめて縛りリサイクルへ。

④ 学校及び地域の環境美化に努めよう



〈公園の清掃活動〉



〈通学路の清掃活動〉



〈地域清掃活動〉

⑤ 希少植物「アサザ」の保護と増殖活動に取り組もう

希少植物「アサザ」の増殖，地元小学校への苗の提供と浦の池の観察を行った。



小学校にアサザ苗をタフ船に植え付ける。



〈ビオトープ管理：オオカナダモの撤去作業〉

〈浦の池の清掃〉

4 具体的効果

- ◆ 吉野川高校として新たにスタートしたため昨年との比較が難しいが，節電・節水の意識は強く大幅な伸び率にはなっていない。
- ◆ クリーンデイ（月1回）によって，定期的な校内美化がはかれ，ワックスがけなどの作業で校内美化に努める意識向上が見られた。
- ◆ 全校での取り組みは連帯感や協調性を養うことに繋がった。また，地域社会の一員としての自覚を高めることが出来た。

5 改善点

- ◆ アサザの保護活動では，小学校との連携をさらに深める必要がある。
- ◆ 学校で学習したことを家庭生活や社会生活の中にどうに生かしていくか。
- ◆ 生徒が自主的・継続的に取り組めるような工夫が必要である。